

お客様の目の前で調理する
独特なバイキングスタイルを
ぜひお試しください



企画室主任の
黒川大輔さん

1.三日月湾を眼下に眺める地上30mのスカイSPA。2.客室は全室がオーシャンビュー。カツオの水揚げ量が関東一を誇る勝浦漁港は目の前。400年の歴史を有する日本3大朝市「勝浦朝市」も徒歩圏だ。3.絶景SPAアクアパレスは全天候型のスパゾーン。あらゆる世代が楽しめるよう、随所に工夫が凝らされている。



Spot / 8
地元貢献を第一に
大規模旅館の明日を拓く
勝浦ホテル三日月
かつうらはてるみかづき

ゆったりたっぷりの～んびり～♪ で知られる三日月グループ創業の旅館。目の前にある三日月湾が名前の由来だ。昨今は、新型コロナウイルス感染拡大時に中国からの帰国邦人を受け入れ世間から注目・称賛された。今回の経験や地元の亀田総合病院の指導を生かして、「三日月STANDARD」と称する安全で安心なホスピタリティで、観光業界の復興を牽引している。

DATA ④勝浦市墨名820 ☎0470-73-1115
⑤年中無休 ⑥1泊2食おひとり様16,650円～(税・サ込)

Spot / 10
千倉町出身の絵本作家
山口マオさんのショップ

海猫堂
うみねこどう

ユニークなキャラクターで人気を博す絵本作家の山口マオさんの作品を展示・販売するギャラリー&ショップ。「千倉には野良猫的な自由な文化がある」とマオさんが語るように、土地の風土が創作活動に大きく影響している。イラスト入りTシャツ、マグカップ、アクセサリなどが並び、マオワールドへと誘われる。

DATA ④南房総市千倉町千田1051
道の駅ちくら潮風大国内
☎0470-43-1039 ⑤10:00～17:00
⑥水(1～4月・8月は無休)

1.海猫堂の店内。2.「わにわにのおふろ」(小風さち文 福音館書店 900円・税別)、3.「ねこでんしゃ」(交通新聞社 1,300円・税別)、など作品は優しさにあふれている。



多くの魅力が詰まった千倉ゼミ!

山口マオさん



山口マオさんのイラスト入りTシャツを3名様にプレゼントします。
→詳しくはP.82をご覧ください。



Spot / 9
地元民からも愛される立寄り湯
南総城山温泉 里見の湯
なんそうしろやまおんせん さとみのゆ

岩盤浴や炭酸泉が人気の立寄り湯。岩盤浴は天然ミネラルが豊富なヒマラヤ岩塩、遠赤外線放射率の高いゲルマニウム鉱石、マイナスイオンを発生させるブラックゲルマニウム鉱石の3種。隣接するカフェレストラン「ステラディマール」の薪窯で焼いたピザが絶品。自家製ジェラートはお風呂上がりのお楽しみだ。

DATA ④館山下真倉305-1
☎0470-25-1126 ⑤10:00～23:00
(最終受付22:30) ⑥年中無休
⑦大人平日1,080円(土日祝は1,480円)
小人500円(税込)
ステラディマール☎0470-29-7223
⑧11:00～21:30(L.O.21:00) ⑨無休



接客担当の上野裕介さんと長谷川七海さん

私が盛付けるジェラートをぜひ堪能してください



Spot / 6
廃校をリノベーションして再生
道の駅 保田小学校
みちのえき ぼたしょうがっこう

2014年3月に創立126年で暮を閉じた「町立保田小学校」を再利用し、2015年にオープン。懐かしの給食メニューを提供する「里山食堂」「cafe金次郎」など飲食店が充実。体育館を利用した売店「きよなん楽市」や、校舎を宿泊施設にした「学びの宿」にも癒やされる。

DATA ④安房郡鋸南町保田724 ☎0470-29-5530
⑤施設ごとに異なります。
⑥駐車場は24時間営業



事業課・横瀬裕司さん

私も鋸南町の出身。南房総の玄関口でアクセシビリティは抜群です



1.地元の名産品をいかしたアイデアお土産が多数。2.「学びの宿」は畳のベッド。宿直の先生気分。3.道の駅保田小学校は館山自動車道の鋸南保田I.C.からすぐ。I.C.から降り、再び乗っても追加料金はかからない。4.cafe金次郎の「金次郎と給食」(1,100円・税込)。鯨の竜田揚げにソフト麺・揚げパン、そして房州牛乳。胃袋が小学生に戻る気分だ。

懐かしく温かくおらかな土地柄
地元愛が新たな文化を生み出す

この街を歩いていると、昭和にタイムスリップしたようなノスタルジックな空間に幾度となく遭遇する。穏やかな風景や飾らない街並みに加え、「人」の温かさや優しさも印象的だ。

絵本「わにわに」シリーズや、シュールなマオ猫で知られるイラストレーター「山口マオ氏」をはじめ、東京からのUターン派も多い。しかも、この街で出会った方々は皆、この地域に対する愛着を強く抱いていた。

こうした土地柄のため、廃校を再生させて地域を盛り上げようと「道の駅 保田小学校」や「シラハマ校舎」のようなユニークな施設が生まれ、それらが新たな魅力の創出につながったのだと思う。

2019年は、この地に大型台風が立て続けに襲来した。その被災者に大浴場を無料開放した「勝浦ホテル三日月」は、地元貢献を第一に掲げており、また日帰り温泉の「里見の湯」も地元で愛される施設を目指しているという。

南房総で、私たちは忘れかけていた何かを取戻すことができるかもしれない、そんな気がした。

Spot / 7
初めて来たのに懐かしい
シラハマ校舎
しらはまこうしゃ

2012年に廃校となった千葉県最南端、白浜町の旧長尾幼稚園・小学校。この歴史ある木造校舎がリノベーションにより、2016年にレストラン、レンタルオフィス、宿泊等の多目的施設として生まれ変わった。カフェ・レストラン「バルデマル」は旧幼稚園のプレイルームを改装した空間で、地元の海の幸・山の幸をふんだんに使ったスペイン風房州料理が味わえる。ホームメイドデザートやホットドリンク、自家栽培のミントを存分に使ったモヒートは地元でも人気。

DATA ④南房総市白浜町滝口5185-1
☎0470-29-5848
⑤レストランは11:00～14:30
18:00～20:00 ※完全予約制
⑥火



シラハマ校舎を運営する多田朋和さん・佳世子さんご夫妻

1.右上から時計回りに、「田舎サラダ」(800円・税別)、伊勢海老と車海老の「地元食材を使ったバリエア」(2人前1,800円・税別)、ツチクジラの薫製、スペイン風オムレツ、生ハムの「オードブル盛合せ」(1,000円・税別)。2.ときどき校庭で屋外イベントも開かれる。3.木の床の長い廊下。「この雑巾がけがキツかった〜」(佳世子さん)

